

カリキュラム

機密性2

機施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
 実施機関名： 株式会社フロムサーティ

(D) データ活用	104	ピボットテーブルを活用したデータ分析
表計算ソフト活用		

コースのねらい	表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得する。
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 多角的データ分析	(1) データ分析とは データを収集・整理し、そこから意味を見出すことができ、問題点や新たな可能性を知るヒントを発見することが可能となることを解説する。 (2) ピボットテーブルとは 最も基本的なフォームでは、データを使用して集計し、データを持つ意味をわかりやすく解説する。 (3) ピボットテーブルでできること 様々な切り口でデータを切り分け高速で示唆を導くことが可能になる方法を解説する。 (4) ピボットテーブル作成の流れを知る【演習あり】 基本形から作成の流れを解説する。知りたい情報にシフトし多角的にデータを確認および分析する。 (5) ピボットテーブルの活用 活用を通して、ピボットテーブルに不向きなリストのパターンを知る。ピボットテーブルと通常の表の関係を知る。	4.0
	2 ピボットグラフによるデータの見える化	(1) ピボットグラフとは ピボットグラフでは、データの集計とデータが持つ意味の表示をより視覚的に行い、この機能を利用するだけで、説得力の違いがあることや目標設定における現実的な計画性を見出しやすいことを解説する。 (2) ピボットグラフの種類の変更 データの種類に合わせたグラフ選び、求める内容によってグラフ種類での効果が違うため、多種多様な結果を想定してグラフ変更ができるように、解説する。グラフ種類の変更、グラフスタイルの変更、グラフレイアウトの変更など事例に合わせて演習を入れる。	4.0
	3 複数テーブルの分析	(1) リレーションシップとは 複数のテーブルに基本情報を分けて管理する。そしてそれぞれの同じ項目に関連付けすること。それにより、いろいろなデータを連結・参照することが容易になることを演習を通して理解するよう解説する。 (2) リレーションシップの設定【演習】 リレーションシップの注意事項を解説する。 リレーションシップを設定して利用するには、2つのテーブルの特徴と、目的に合わせてどのように関連付けを行うべきかを検討する。 テーブル間にリレーションシップを設定し分析する。 リレーションシップの編集、変更をする。 リレーションシップの削除する。	4.0
合計時間			12.0

カリキュラム作成のポイント

・効率よくデータ分析ができるよう、ピボットテーブルの基本から活用法の習得を目指す。また、演習問題を通してデータを多角的に捉え、仕事に活かせるデータ分析手法を習得する。